

稲作農家 各位

# 山武稲作情報 第3報(2014年6月27日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

## 山武地域の生育状況

6月の気温はやや高めで、日照時間は多めに推移しました。水稻の生育は早く、コシヒカリも幼穂形成期（幼穂長1mm）を迎えています。草丈がやや高く、茎数は平年並みとなっています。

### 参考 山武地域の生育状況

品種	場所	年	移植日	葉令	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (カラス ケール)	幼穂 形成期	調査日
ふさ おとめ	大網 白里市	26	4/26	11.1	59.5	389	5.0	6/14	6/15
		25	4/24	10.5	51.0	491	4.7	6/14	6/14
		平年値	4/27	10.7	56.8	462	4.7	6/18	6/19
ふさ おとめ	山武市	26	5/1	10.5	57.0	498	4.9	6/18	6/19
		25	5/1	10.8	52.7	601	5.3	6/21	6/24
		平年値	4/30	10.5	51.5	610	5.0	6/22	6/22
ふさ こがね	山武市	26	5/1	10.1	60.9	507	5.3	6/20	6/20
		25	5/1	10.4	62.9	601	5.6	6/24	6/25
		平年値	4/30	10.5	57.5	600	5.0	6/25	6/26
コシ ヒカリ	東金市	26	4/19	11.8	80.0	507	5.2	6/22	6/25
		25	4/23	10.4	68.5	579	4.8	6/25	6/25
		平年値	4/24	10.9	68.8	529	4.6	6/28	6/28
コシ ヒカリ	山武市	26	5/1	10.4	67.7	525	4.8	6/24	6/25
		25	5/1	10.7	69.3	510	4.6	6/30	6/30
		平年値	4/30	10.7	65.5	549	4.5	6/30	6/30
ふさの もち	山武市	26	5/9	10.5	53.9	529	4.2	(6/29)	6/25
		25	5/9	10.1	59.2	560	5.2	7/3	6/25
		平年値	5/9	9.8	52.5	625	5.2	7/4	6/25

平年値は過去5年間の平均値データ。

幼穂形成期は幼穂長1mm以上の稲が80%以上となった日。

H26年度の幼穂形成期（ ）は推定日。

※お知らせ：今年から山武稲作情報を山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

## 中干し後の水管理

幼穂形成期から出穂期にかけては水の要求量が高く、カドミウムの吸収を防ぐためにも、幼穂が確認できたら入水します。

また、低温時や大風の時の対策として深水で湛水することで穂への影響を少なくすることができます。畦畔等の管理を行い、深水が保てる状況にしておきます。

## 病害の防除

イモチ病については、初期発生の報告や畦畔のメヒシバ等の雑草にイモチ病の発生が見られますが、水田ほ場内での目立った発生は確認されていません。山間谷津田や過繁茂気味のほ場では注意して観察し、早期防除に努めます。

その他の特に目立った病害の発生は現在のところ確認されていません。

### オモダカ

矢じり型の葉をイネの葉の上からのぞかせ、現在、3つの丸く白い花卉の花が咲き出しています。

同じオモダカ科にヘラオモダカとサジオモダカがありますが、オモダカが主に塊茎から発生するのに比べ、この2種類は種子発生となります。

オモダカは窒素の吸収量が高く、稲と競合します。肥料が効いている水田ではオモダカも大きく成長します。1株あたりで50～150個の塊茎をつけ、翌年発生しますが、水稲作付期間から秋にかけて1年間きちんと防除すると発生量が減り、比較的防除のしやすい雑草です。



オモダカの花



特徴的な矢じりがたの葉

### 郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXに切り替えを進めています。電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 堀 s.hr22@pref.chiba.lg.jp、 0475-54-0226（電話）